

## 令和6年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業 実施状況一覧

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
1	神戸市	SNSとAIを活用したキャリアカウンセリング・キャリアアップサポート事業	<p>就職氷河期世代の求職者・転職希望者を対象に、家に居ながら又は働きながらでも正規雇用やキャリアアップに向けた活動が行えるよう、時間と場所を問わないSNSを活用したオンライン就労支援サービスを提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職者数(非正規を含む) R6目標:200 R6実績:76</li> </ul> <p>LINE広告を中心としたマーケティングにより毎月一定数の新規友達ユーザー数を獲得できた一方で、就職決定まで進んだユーザーの割合が低く、就職決定数は伸び悩んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリング受講者数 R6目標:3,000 R6実績:5,601</li> </ul> <p>求人紹介について、求人開拓強化と、就職氷河期世代が安心して応募できるキーワードを前面に押し出した求人情報の配信により、多数の相談者を獲得できた。一方で、キャリア相談受付については、効果的なコンテンツで相談への誘導を図ったが、相談者数に伸び悩んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャットボットの友達ユーザー数(時点) R6目標:25,000 R6実績:32,676</li> </ul> <p>昨年度に引き続きLINE広告を中心としたWebマーケティングを行った。特に、4月～6月は集中的にLINE広告を行うことで、月間1,200名～1,400名の新規ユーザーを獲得できた。7月以降、ボリュームを落としつつも、継続して新規ユーザーを獲得でき、目標値を達成している。</p>
2	神戸市	ひきこもり状態等にある方の就労支援充実	<p>心理テストを導入し、個別フィードバックを作成することで、心理的抵抗を軽減し、相談者の客観的な自己理解を促進した。その結果、心理カウンセリングからキャリアカウンセリングへと自然につながるケースが多く見られ、社会参加者数の増加につながり、双方の目標達成につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加者数(居場所等への参加者数) R6目標:14 R6実績:28</li> <li>・地域若者サポートステーションにおける心理カウンセリング実施件数 R6目標:60 R6実績:60</li> </ul>
3	神戸市	氷河期世代の転職・再就職及び市内企業人材確保の同時的推進事業	<p>正規雇用を希望する就職氷河期世代の求職者に対して、就業に必要な知識やスキルの向上を図るとともに、就職先を決める前に実際の業務内容や職場環境を自身の目で確認する機会(職場体験・見学)を提供することで、ミスマッチのない転職・再就職等の促進及び市内企業の人材確保を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業者数(正規雇用、正規雇用を前提とした非正規雇用) R6目標:20 R6実績:11</li> </ul> <p>受入求人数は101件と少なくないものの、職種はサービス業、専門的・技術的職業が多く、登録求職者の多くが希望する事務職は13件(全体の12%)となっており、体験見学や応募につながるケースが少ない結果となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場見学・体験人数 R6目標:80 R6実績:23</li> </ul> <p>昨年度に引き続き、事務職を希望する求職者が圧倒的に多く、就職氷河期世代の年齢の壁から、企業から事務職求人を得ることは難しかった。一方で、求職者のキャリアチェンジも促してきたものの、職業経験の少ない就職氷河期世代の意識改革が難しく、目標値には至らなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職支援プログラム・個別相談での支援者数:R6目標:500 R6実績:458</li> </ul> <p>個別相談については、夜間の個別就職相談可能日の掲載などをタイムリーに更新、広報メールの配信数も増やすなど、丁寧な周知広報を行った結果、多くの相談を受けた。一方で、就職支援プログラムにおける無業者向けプログラムへの参加が伸び悩んだため、昨年度の実績を上回ったものの、KPIの目標値には至らなかった。</p>

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
4	宝塚市	就職氷河期世代リモート型就労支援事業	<p>就職氷河期世代のうち不本意ながら不安定な仕事についている方、働きながらキャリアアップを望む方などを対象に、SNSアプリ「LINE」を活用したシステムを開発し、就労に関する相談、キャリアカウンセリング、セミナー情報の配信等、オンライン上で就労支援を実施。提供サービス名は「ヅカキャリア」とし、令和2年10月9日より運用を開始し、令和6年度も引き続き運用を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業による就職者数(非正規採用を含む) R6目標:20人 R6実績:10人</li> <li>・求人情報だけでなく、キャリアカウンセリングの利用を薦める配信を複数回行ったが、目標達成には至らなかった。</li> <li>・サービス利用件数(キャリアカウンセリング件数及び仕事紹介件数) R6目標:520件 R6実績:355件</li> </ul> <p>既存ユーザー向けにメールを活用し求人情報に関する配信を行ったが、一方通行の情報提供であったため、なかなか仕事紹介に結びつかず、目標値の達成には至らなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報配信へのエンゲージメント数 R6目標:22,700回 R6実績:34,026回</li> </ul> <p>事業終了を見据え、SNSアプリ「LINE」上での広告掲載を控えたことにより、新規ユーザーの流入は少なかったものの、キャリアカウンセリングの利用を薦める配信を積極的に行ったことから目標値を達成した。</p>
5	川西市	就職氷河期世代就労支援事業	<p>氷河期世代に向けた面接指導、履歴書の書き方、自己PR等を指導するキャリアカウンセリングの実施、就労を希望している無業の方に職業体験の機会を提供する就労体験プログラムの実施及び自分に合った働き方に関する動画配信、セミナー、座談会、個別相談会の実施をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を通じた就業者数 R6目標:17人 R6実績:7人</li> </ul> <p>連携が進んでいる反面、就労困難者へと層が変わり、伴走支援が長期化したことで、就職者数が伸び悩んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業受講者数のうち氷河期世代の人数 R6目標:46人 R6実績:48人</li> </ul> <p>チラシや広報誌などの従来の周知方法に加えて、市のSNSでの周知、若者キャリアサポート川西や庁内関係部署(生活支援課、地域福祉課等)との連携体制の強化、合同就職面接会へのブース出展などを実施することで、より効果的な周知を実施できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記就労した者のうち正社員及び常勤職員となった者の人数 R6目標:9人 R6実績:4人</li> </ul> <p>人材不足の継続や就職情報サイト等の民間事業の充実により、本事業の対象者は、より手厚い支援が必要な層へと移行してきており、より長期にわたる支援が必要であるため、正社員及び常勤職員としての就労まで達しなかった。</p>
6	猪名川町	就職氷河期世代就労サポート事業	<p>就職氷河期世代の方を対象とした毎月1回の個別相談窓口の設置、及び年間16回の就労支援セミナーの開催によって、就職のための準備から職場定着・ステップアップまでの継続的な支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援事業につなげた人数 R6目標:45人 R6実績:33人</li> </ul> <p>HPやSNS等での広報に加え、関係機関への周知協力依頼等、積極的な広報活動により広く事業を周知することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業者数(勤務形態問わず) R6目標:5人 R6実績:7人</li> </ul> <p>スキルアップを目的としたセミナーの開催により、求職者のモチベーション向上に繋がり、就業者増に結びついた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業者のうち正規雇用及び常勤職員数 R6目標:3人 R6実績:3人</li> </ul> <p>スキルアップを目的としたセミナーに参加されたことで自信に繋がり、正規雇用に繋がった。</p>
7	明石市	就職氷河期世代活躍支援事業	<p>現在仕事をしていない就職氷河期世代の方々就職を実現させるため、能力向上を目的としたセミナー(5回)・相談会(1回)を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー・相談会への参加後に就職決定した人数 R6目標:8 R6実績:7</li> </ul> <p>連続講座という形式に出席することで継続した就労支援を予定していたが、連続して出席する方が少なく、継続した支援ができなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー・相談会への参加後に社会参加が決定した人数(通いの場、就労準備訓練等への参加に繋がった人数) R6目標:2 R6実績:2</li> </ul> <p>セミナーでの情報提供を通じて2名(職業訓練校1・通いの場1)が社会参加につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー・相談会等への参加人数 R6目標:30 R6実績:14</li> </ul> <p>セミナーの周知や説明が不足しており、参加者数が伸び悩んだ。</p>

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
8	香美町	香美町ひきこもり者等就労支援事業	<p>就職氷河期世代に存在する就職できずにひきこもりになった方や障害が理由で就労の場が与えられなかった方に対し、就労体験を通じた社会参加を促進するため、就労準備支援金を支給した。</p> <p>また、事業者の理解促進やひきこもり者等の職場定着支援を目的として、就労体験の場の提供及び就労を受け入れた事業者に対して助成金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加者数(本事業により就労体験を実施した者、就労に至った者の人数) R6目標:5人 R6実績:3人</li> <li>・就業者数(本事業により、正規雇用、非正規雇用、自営・起業・内職等に至った人数) R6目標:5人 R6実績:2人</li> </ul> <p>就職氷河期世代の求職ニーズと登録事業者の求人ニーズの乖離により目標達成に至らなかった。</p>
9	兵庫県	ひきこもりの居場所及び居場所へのつなぎ資源確保事業	<p>市町を対象としたひきこもり支援勉強会を実施することで市町の居場所設置を推進し、県内に多様な居場所を確保する観点からインターネット環境を活用したオンライン居場所を設置した。また、令和6年度からは、民間のひきこもり支援団体等に対する支援を充実させ、支援団体向け研修会の実施やネットワークの構築を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加者数(オンライン居場所への延べ参加者数) R6目標:800 R6実績:1,023</li> </ul> <p>毎年企画提案コンペにより事業実施者を決定しており、各事業者共に実施内容や広報手法等に創意工夫を行った結果、広く事業を周知することが出来た。また、令和6年度からは女性専用の居場所やオフ会など特色のある居場所を新設したことも参加者の増に繋がったと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもり支援団体等ネットワーク加入団体数 R6目標:60 R6実績:33</li> </ul> <p>いわゆる「引き出し屋」のネットワーク加入を防ぐ観点から、民間の支援団体への加入案内を制限したこと、また、市町に対しては、事業の周知や説明、加入することによるメリットの提供が不十分であり、加入団体数が伸び悩んだ。</p>
10	兵庫県	起業家支援事業 就職氷河期世代枠	<p>就職氷河期世代のうち、本人に合った形での就労や社会参加が可能となるよう、起業を考えている方に対して立上げ経費の一部を支援することで、安定した起業及び事業運営のサポートを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業を活用した就業者(起業家)数 R6目標:20 R6実績:9</li> </ul> <p>県内対象者に向けたチラシ配布や県内のコワーキング施設での説明会を行ったものの、他の枠に応募が流れ応募件数が低迷した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業の活用による起業に伴う新規雇用者数 R6目標:10 R6実績:4</li> </ul> <p>スモールビジネスによる起業が多く、創業まもない段階では創業者単独で事業運営するケースが多いため。</p>
11	兵庫県	ミドル世代就労支援事業	<p>兵庫県が委託運営する、ひょうご・しごと情報広場にミドル世代就労相談窓口を設置し、就職氷河期世代の抱える課題を踏まえ、キャリアカウンセリングから段階的な就職支援プログラムを実施し、個々の状況や適性に応じた就職支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうご・しごと情報広場におけるミドル世代のうち就職氷河期世代の就労相談件数 R6目標:600件 R6実績:744件</li> </ul> <p>求職者に相談窓口を利用してもらうため、HW等関係機関と連携を密にする等、窓口の広報に力を入れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうご・しごと情報広場の支援によるミドル世代のうち氷河期就職世代の就職者数(正規雇用、非正規雇用) R6目標:15人 R6実績:22人</li> </ul> <p>レベルアップ就労支援プログラムやミニマッチング会の実施等、各個人の状況に合わせた支援や就職しやすい環境整備を行った。</p>
12	兵庫県	就職氷河期世代等就労支援プログラム事業	<p>就職氷河期世代のうち不安定就労者や未就職者等を対象に、安定就労に向けた就職活動を支援するため、ビジネスマナーや履歴書作成等の研修と企業とのマッチング等の就職活動支援を組み合わせた人材育成プログラムを実施し、就職氷河期世代の活躍支援を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム参加者中の就業者数(非正規を含む) R6年度目標:15名 R6年度実績:8名</li> </ul> <p>キャリアコンサルタントおよび企業開拓員が支援対象者と一緒に応募先企業の絞り込みや履歴書の作成支援を行ったが、実際に応募書類提出段階で体調不良や希望条件が変わるなどを理由に未提出のものが見受けられたり、履歴書の作成を途中で辞めてしまうものが複数人いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムに参加者中の就業者数のうちの正規雇用者数 R5年度目標:8人 R5年度実績:4人</li> </ul> <p>プログラム終了後3ヶ月間は個別相談、並びに報告会(月1回)を実施した。非正規雇用で就職したプログラム参加者には、正規雇用を目指して定期的に個別相談を実施した。また未就職者には法人が運営する就労相談窓口3拠点でキャリアコンサルタントによる個別相談を実施し、支援を継続した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムへの就職氷河期世代の参加者数 R6目標:25人 R6実績:13人</li> </ul> <p>応募者数14名の中から十分に就労意欲やプログラムへの参加意欲のある者を選抜してプログラムを実施した。</p>

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
13	兵庫県	おためし企業体験事業 in HYOGO	<p>就職氷河期世代の求職者等に対し、県内企業をおためし体験できる機会を提供することにより、求職者の適性に合った企業への就職を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業体験を通じた就職者数(正規雇用) R6目標:10人 R6実績:0人</li> <li>企業体験への参加はあったが、現在の希望には合わないなど体験直後の就業には結びつかなかった</li> <li>企業体験への体験者数 R6目標:150人 R6実績:361人</li> </ul> <p>年度当初から体験期間を確保し、全体スケジュールの調整をしながら、効率的・効果的に事業を実施した。</p>
14	兵庫県	氷河期世代向け合同企業説明会事業	<p>就職氷河期世代に特化して合同企業説明会や企業情報提供の場を提供し、県内企業の魅力を知ってもらうことにより、就職氷河期世代と県内企業とのマッチングを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>合同企業説明会及び就職支援セミナー参加者数 R6目標:200人、R6実績:112人</li> <li>就職氷河期世代に向けた支援においては、対面型の合同企業説明会は一定の役割を果たしたと考えられる。</li> <li>合同企業説明会をきっかけにした就職者数 R6目標:10人、R6実績:15人</li> </ul> <p>対面型で様々な業種の企業が参加したことにより、求職者のニーズに合った企業のとマッチング機会を確保できた。</p>
15	兵庫県	就職氷河期世代のこころの健康電話相談事業	<p>就職氷河期世代向けに特化した相談窓口を設置し、年間を通じて相談を受けた。相談事例については、必要に応じて関係団体との個別ケースの連絡調整会議を開催しているほか、事例によって県民の身近な窓口である市町にフィードバックを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連絡調整会議から社会参加へつながった者の数 R6目標:3人 R6実績:4人</li> <li>就職氷河期世代のこころの健康問題の相談件数 R6目標:240人 R6実績:272人</li> <li>個別ケースの連絡調整会議の開催数 R6目標:5回 R6実績:5回</li> </ul>

令和 6 年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業実施状況に対する意見等

[令和 7 年 9 月 22 日 兵庫県中高年世代活躍応援プロジェクト協議会]

意見等	事務局回答
意見なし。	